

# 有珠山噴火災害から地域を守る ～火山との共生～



北海道 洞爺湖有珠火山マイスターネットワーク  
代表 阿部 秀彦

## 1 はじめに

有珠山は数十年に一度という間隔で火山活動を繰り返しています。噴火による犠牲者を出さないためには、有珠山についての正しい知識や経験を、次世代へきちんと伝えていくことがとても重要です。そこで平成20年に北海道と洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会が共同事務局となり「洞爺湖有珠火山マイスター制度」が始まりました。認定を受けた者は当初、学習会などを個々の活動として行っておりましたが、情報交流や合同企画等の組織的な活動も徐々に活発化してきたため、洞爺湖有珠火山マイスターネットワークを設立し、地域防災力の向上を主な目的として、個人的な活動の枠を超えたものを組織的に行っております。

## 2 地域の防災力向上のために

火山マイスターには洞爺湖有珠山周辺地域の自然や特性、噴火の記憶や減災の知恵などを地域内外の方に語り継いでいく役割が期待されています。普段の主な活動は、地域住民や地元の学校の児童生徒や教職員、自治体関係者向けなどに、過去の噴火における災害遺構での現地学習会や屋内での講演会等を行っており、地域防災のリーダーとしての役割も期待されています。

また、この地域を訪れる北海道内ばかりでなく全国からの修学旅行生や各団体の方々に対しても当地域で行われている火山防災活動を通して、それぞれの地域の自然災害に対する防災・減災活動というものを

考えてもらうきっかけとなってもらえるような実践を行っております。

火山防災に関しては先進的な取り組みである当地域の活動を参考とするため、国内のみにとどまらず、海外からも多くの方が制度や活動等の視察に訪れています。もちろん火山防災に限らず、他の自然災害に関しても、全国の防災関係担当の方々が、当地域の考え方を参考とするため足を運んで来られています。

地元メディアとの連携活動としては、地方紙「室蘭民報」における「火山マイスター日記」の連載や、コミュニティFM放送局「ワイラジオ」での火山マイスターによる情報発信番組などが挙げられます。また最近では、地元メディアのみならず、様々な地域からの取材も増えてきています。

## 3 火山との共生

ひとたび噴火が起きれば、大きな被害を周辺地域に与え、時には人の生命を脅かすこともあります。過去に起きた火山活動は、洞爺湖や昭和新山に代表される景観を作り、温泉などの資源を生み出しました。また噴出物は、農業に適した肥沃で広大な土地や、果樹栽培に適した土壌を作り出すなど、我々の地域や産業を支えてくれているのです。

火山は噴火災害を引き起こす反面、過去に起きた火山活動は地域を作り、産業をつくるなど、長期的には大きな恵みを我々に与えてくれます。その考え方が我々の活動を通して、住民の方々が「自分たちは火山



規制区域での地元中学生の学習



修学旅行生への防災学習



他自治体視察対応



地元教職員に対する学習会



地元小学生への座学



様々な国からの視察に対応

と共生している」という意識を徐々に持っていただけになってまいりました。

#### 4 防災・減災文化の定着へ

有珠山周辺地域の住民全員が正しい知識を持ち、前兆地震が起きた場合にはそれぞれが自主的に避難を開始し、人的被害を出さないような、防災・減災文化を定着させることが我々の目指すところです。そのために地域の子どもたちへの学習は、全員に対して行う必要があります。また、幅広い分野からの人材を武器に、地域住民の方々へ多方面からのアプローチを行っています。

20世紀中、有珠山は4回の噴火を起こしました。この間隔は、人間の世代交代に相当するものであるため、親から子への災害経験の伝承を、避難などの実体験をもとに行うことができます。しかし、一度の噴火において、有珠山で発生する可能性のある噴火に伴う現象が全て起こるわけではないので、やはり噴火に関する基礎的な知識は地域住民全員がきちんと持っていなければいけません。それと共に平時は、火山からの恵みを十分に受けて暮らしていることを我々は忘れてはいけません。